

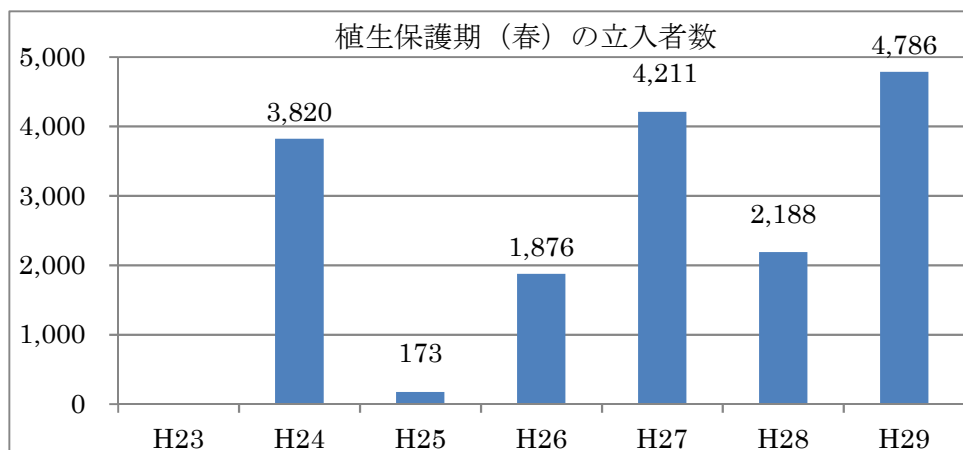
知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

1. 地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期植生保護期および秋期自由利用期の運用改定を検討中。今年度は検証実験を実施。
2. 植生保護期（開園～5/9）における地上遊歩道の立入認定者数は4,786人（前年比219%）であり、過去最高を記録。ヒグマ出没や荒天による緊急閉鎖がなかったことが要因。
3. ヒグマ活動期（5/10～7/31）における地上遊歩道の立入認定者数は15,079人（前年比102%）であった。期間中のヒグマ遭遇回数は30回（うちツアー中止14回）（前年46回（うちツアー中止6回））であり、遭遇回数は減少したもののツアー中止回数は過去最高であった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

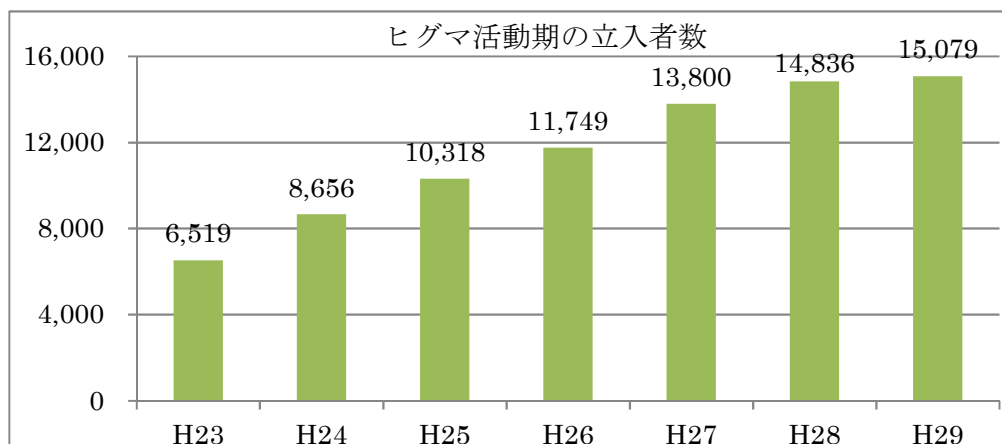
- ・平成29年度は4月20日（開園日）から知床五湖利用調整地区制度を運用中。
- ・植生保護期（開園～5/9）における立入認定者数は4,786人（前年比219%、前々年比114%）であった。
- ・大ループの開放は5月6日（前年4月27日、前々年5月8日）となったが、期間中にヒグマ出没や荒天による緊急閉鎖はなかった。



- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入認定者数は登録引率者を含め15,079人（前年比102%、前々年比109%）であり、同期における立入認定上限人数（33,781人）の45%で推移。
- ・期間中のヒグマ遭遇は30回（前年46回、前々年44回）で前年より少ないものの、ツアー中止回数は14回（前年6回、前々年13回）で前年より増加した。
- ・7月末までの知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車26,127台（前年同期比104%）、バイク1,420台（前年同期比107%）、マイクロバス103台（前年同期比87%）、大型バス

1,813台（前年同期比99%）であった。

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。



※現状のヒグマ活動期立入者数上限は33,781人（1日あたり407人×83日）。

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

- ・地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、知床五湖の利用のあり方協議会において、春期の現行植生保護期をヒグマ活動期に、秋期の現行自由利用期を植生保護期に変更し、開園～7月をヒグマ活動期、8月～閉園を植生保護期とすることを検討中。
- ・春期植生保護期において、ヒグマ活動期と同様のガイドツアーを想定した検証実験を実施した（ツアー参加/非参加者を対象としたアンケート、引率者への聞き取り、積雪や踏み外し等を確認する定点調査）。
- ・秋期自由利用期についても植生保護期と同様の利用を想定した検証実験を予定。

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

●第36回知床五湖の利用のあり方協議会：平成29年3月3日

- ・知床五湖利用期区分の再検討を進めていくことについて合意した。
- ・平成29年度の制度運用予定について確認した。
- ・平成28年度の指定認定機関収支報告及び審査部会会計報告を行った。

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成29年度は35名の引率者を登録（前年33名）。研修を実施中。
- ・平成29年3月2日～4月17日まで平成29年度の新規養成者募集を行い、2名が応募。養成研修を実施中。